

# まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

## 花めぐり

### アオウメ



酸っぱい食べ物の代表である梅。梅に含まれるクエン酸やリンゴ酸などの有機酸が酸っぱさの正体です。疲労回復の効果があり、クエン酸はレモンの5倍も含まれているそうです。

我が家の庭には半世紀以上前より1本の梅の木があります。春に

咲く白い花が良い香りを放ち、梅雨の季節には可愛い実をたくさんつけてくれます。

子どもの頃に家族みんなで梅の実を収穫した幸せな思い出に浸りながら、今年もまた美味しい梅酒になるよう励みます。

「桃栗3年、柿8年、柚子は9年の花盛り、枇杷は9年でなりかねる。梅は酸い酸い13年、梨はゆるゆる15年、林檎にここ25年」

何事も、成就するには相当の年月が必要だということです。

さて、今年はいくつ取れるやら…

(広報委員 池田美貴子)

中原共和町会は5月13日(水)午後3時から、春の交通安全週間の一環として、路線バスを借り切つてのバスツアーを実施しました。これは、東急電鉄のご厚意によるもので、荏原警察署の女性警察官、東急バスの役員が同乗し、中原クラブ(高齢者クラブ)と町会役員18名が参加しました。コースは中原街道から二国、環七、目黒通り、26号線を約1時間40分ほど走行しました。



東急バスの前で記念撮影

高齢者安全バスツアー  
みんなで守ろう交通安全

地区委員会主催春の企画「親子で行こう!ズーラシア!」が、5月10日(日)に行われました。当日、朝8時15分に武蔵小山に集合し、バス2台で「よこはま動物園ズーラシア」へ向けて出発しました。子ども33名、大人37名、地区委員14名、事務局3名の計87名が参加しました。

### ズーラシアで動物とふれあう

(広報委員 青木富代)

車中では、女性警察官から、「高齢者は自転車による事故が多い」などといったお話があり、クイズを交えながら交通安全の指導を受けました。東急バス荏原営業所の車庫では、急ブレーキの体験をしました。時速20キロで1回、スピードを上げて時速40キロで1回の計2回ブレーキが踏まれました。「1、2、3」の号令と共に、急ブレーキがかかりました。身構えて体験しましたが、思った以上の衝撃に「すごいねえ」「気を付けようね」と思わず声が上がりました。今日の体験を忘れずに、交通ルールを守り、安全に留意して過ごしたいと感じました。

ズーラシアは、「生命の共生・自然との調和」をメインテーマに掲げる動物園です。広々とした園内には、たくさんの動物や四季折々の植物を親子で観察できることが魅力です。また、4月22日(水)にアフリカのサバンナエリアがオープンしました。参加者の期待の気持ちも乗せ、バスは走り出しました。ズーラシアに到着し、開会式、写真撮影を済ませ、自由行動となりました。オカピ(キリンの仲間)やライオンなど世界中の珍しい動物を観察し、知識を深めることができました。また、芝生の広場やオカピの滑り台、スケルトンザウルの遊具もあり、楽しく遊ぶ子どもたちの声が響いていました。



ラクダとふれあう

(事務局)

### 町で見つけたちよと、いい話

「ありがとう」を伝えたくて

私はこの間、郵便局の機械でお金を引き出しました。ちよとと考え事をしていたため、つい、お金を置いたまま、その場を離れてしまいました。

しばらく歩いていると後ろから「今、お金を引き出しませんでしたか?」と女性に声を掛けられました。「郵便局に預けてありますよ。」とのことでした。私は、はっ!と気が付き、その女性にお礼を言いました。

郵便局に向かい、無事にお金を手元に戻しました。先ほどの女性へお礼もそこそこでしたので、住所を聞いてお礼に伺いたいと思いましたが、手がかりとなるものは見つからず、郵便局の人も「あまり見えない方なのでお名前も分からず…」とのことでした。この紙面で、あの時の親切な女性へ心からお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

(小山4丁目 久我もよ)

## 街角ウォッチング

### 見上げてごらん…☆

五反田文化センターの5階にはプラネタリウムがあります。一般投影は土・日・祝日に1日3回行われ、午前は親子向け、午後是一般向けです。

5、6月の一般投影のテーマは「太陽系に生命が?~木星と土星~」です。

館内の照明が消え、ドームに映し出されたのは品川の町です。やがて太陽が沈む頃、西の空に金星が見えてきます。宵の明星です。暗くなった空にはひしゃくの形の北斗七星が。そして春の大三角をなす、うしかい座のアルクトゥルス、おとめ座のスピカ、しし座のデネボラなどの星が輝きます。町の明かりを消し、空気をきれいにした品川の空には今も昔も変わらず、満天の星が輝いているのです。



文化センターの裏、ドーム型の屋根

さて、今回のテーマの木星と土星。しましま模様の木星は直径が地球の11倍という太陽系最大の星。また、大きな環をもつ土星は、15年周期で環が見えなくなることがあるそうです。土星の環は大変薄く、傾きにより、見え方に変化が出るそうです。「真砂なす 数なき星の その中に 吾に向かひて 光る星あり 正岡 子規」

夜風も心地よい季節です。時には星空を見上げて遠い宇宙に思いを馳せてみるのはいかがでしょうか。(広報委員 河原マサ江)

◎各ご家庭に配布しております。1部ずつお取り下さい。次号『まちかど』は、7月21日(火)発行の予定です。

「まちかど」は、品川区役所ホームページからもご覧いただけます。 <http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/>

古紙を配合した紙を使用しています